

山形県「未来に伝える山形の宝」事業

= うつくしい

第12号

うづぐすえ

令和4年 3月

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会

発行：東北文教大学 地域連携

ボランティアセンター



<2021年度実践報告>

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト 2021年度 全体報告

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクトとは、南山形に根付く文化財（文化資源）を積極活用した地域振興策を大学と南山形地区がタッグを組み、新しいかたちの地域連携を目指すことを目的として立ち上げられたプロジェクトです。本学の学生・教職員および地域のプロジェクト委員・協力委員と共に、具体的に5つの実践プランに分かれて活動しております。本プロジェクトは、2016年度から本格的に始動し、2021年度で6年が経ちました。

2021年度における各実践プランの計画の多くは、非常に残念ながら新型コロナウイルスの影響により、前年度に引き続き中止せざるを得ない状況となっており、皆様にもご迷惑をおかけしてしまいました。簡単ではございますが、以下2021年度各実践プランの活動概要です。

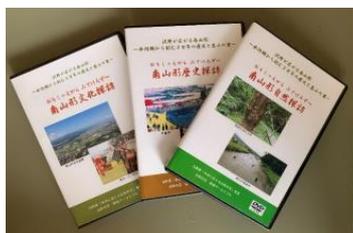
実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動 実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ」作成

南山形地区エリアの文化財である「自然・歴史野外ミュージアム」を巡り、学びと観光による地域の活性化に向けて活動を展開しています。これまで年2回程度の計画で、大学運行バスによる野外ミュージアム周遊を試みてきました。実践プラン1・2の合同事業であり、周遊の際には「マップ」を活用して地域再発見の一助となるよう取り組んでいます。また、昼食休憩時には実践プラン3で作成したDVD鑑賞を兼ねた取り組みも行っております。



2020・2021年度の南山形周遊バスツアーは新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催しておりません。

実践プラン3 DVDの作成



これまでに「文化探訪」編・「歴史探訪」編・「自然探訪」編の3部作が完成しています。令和3年度からは「須川埋没林特集」の作成に取り組んでおり、令和4年度で完成する予定です。一方、これまで作成したDVDの活用方法を具体的に検討しています。

実践プラン4 南山形地区再発見の「講座」開設

これまで年2回程度の計画で、外部講師を依頼して講座を開設。南山形地区の歴史・文化・自然等の再認識・再発見に取り組んできました。

2020・2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催しておりません。



実践プラン5 「谷柏田植踊」の復活・継承運動



20数年ぶりに復活した谷柏田植踊を学生と地域在住者が一体となって継承し続けることを最大の目的としています。現在は4演目が完全復活され、令和3年度は学生組織「民俗芸能サークル『舞』」に所属する第6期生が、文翔館前屋外広場と南山形コミセンホールで演技を披露しました。

須川の埋没林保存活動

<埋没林の掘削経緯>

山形県河川砂防課は、大雨によって山形市吉原地内の須川の右岸が決壊したため、令和3年7月2日から災害復旧工事を行うことを決定し、その作業過程で地表に現れている3本の埋没林を「支障木」として撤去する方針を決めました。撤去後は、須川氷河期埋没林対策委員会委員長須藤善友氏・文化振興・文化財活用課文化財活用主査本木誉司氏・県立博物館館長生島信行氏および長澤一雄学芸員等の関係者が協議して、とりあえず県立博物館および南山形コミュニティセンターに運搬しようということになりました。1回目は7月2日（金）に1本を掘削して県立博物館に運搬、2回目は9月6日（月）に2本を掘削して県立博物館と南山形コミュニティセンターに運搬し、それぞれ仮設置を行いました。現在は3本ともに屋外に保管されている状態ですが、県立博物館にある2本の埋没林については、できるだけ早く薬剤処理等を施して恒久的に保存展示できる環境を整備したいということで、現在対応策を検討中です。南山形コミュニティセンターに仮設置されている1本については、対策委員会や地域においてその活用方法について検討を重ねて結論をみるということになっております。



山形新聞「やましん週刊ヨモニャー」541号2022年2月27日発行



南山形コミュニティセンターに仮設置中の埋没林

実践プラン3 DVDの作成



実践プラン3では、これまでDVD3部作「文化・歴史・自然」を制作してきました。令和3年度は「須川の埋没林」特集に取り組み、令和4年度までの2か年計画とします。埋没林は2万7千年前にできたものと推定される南山形地区が誇る宝です。平成10年に発見されて以来、地域で保存活動に取り組んできた歩みの記録を映像化して再認識をはかり、今後の学習資料や保存活動に資するものとなります。シナリオはプロジェクト映像担当の伊勢博氏が作成し、学生のアレクシオンで進行します。

<DVDの内容> (約25分)

- ① 須川の埋没林とは何か = 県立博物館・長澤一雄学芸員の解説 (5分)
- ② 須川の埋没林が生まれた地質・地理的背景 = 県立博物館・長澤一雄学芸員の解説 (5分)
- ③ 平成10年(1998)埋没林発見以降の取り組みの歩み = 須川埋没林対策委員長 須藤善友氏の解説 (5分)
- ④ 埋没林の掘削作業および移設 (5分)
- ⑤ 埋没林のこれからについて = 山形県立博物館長 生島信行氏・南山形コミセン所長 伊藤博夫氏 (5分)

実践プラン5 「谷柏田植踊」の復活・継承運動



情報誌「文翔館vol.56」



<文翔館の日>

10月9日に行われた「文翔館の日」で谷柏田植踊を披露しました。晴天の中気持ちよく踊ることができました。情報誌「文翔館vol.56」に当日の様子と学生のメッセージが掲載されています。

<合同文化発表会>

今年度初めて東北文教大学・南山形地区合同文化発表会が開催されました。本学の部活・サークル5団体と地域のサークル3団体が参加し、世代を超えた交流の場となりました。谷柏田植踊は、「寄せ太鼓」、第1演目「お正月」、第2演目「思う人」、第3演目「十七かえ」、第4演目「やんさのさ」を披露しました。



<2021年度メンバー>

■東北文教大学民俗芸能サークル「舞」第6期生 13人 部長 樋口雄大

[順不同]

- | | | | | | |
|----------|----------|--------|-----------------------|----------|-----|
| 1. 工藤結衣 | 総合文化学科2年 | 早乙女 | 2. 今田歩可 | 総合文化学科2年 | 早乙女 |
| 3. 小山実菜 | 同 | 早乙女 | 4. 飯野桃佳 | 同 | 早乙女 |
| 5. 小松那奈 | 同 | 早乙女 | 6. 舟山諒太 | 同 | 中太鼓 |
| 7. 樋口雄大 | 同 | 源内棒 | 8. 林 聖貴 | 同 | 源内棒 |
| 9. 加藤蒼太 | 同 | 陰太鼓 | 10. 宮田優奈 | 同 | 陰太鼓 |
| 11. 鈴木妃依 | 同 | 陰太鼓 | 12. 三井愛花 | 同 | 鉦 |
| 13. 齋藤創太 | 同 | マネージャー | (顧問：菊地和博・鈴木 純・金子香織) | | |

■谷柏田植踊保存会(地域在住者) 15人 会長 枝松昭雄

[順不同]

1. 唄: 伊藤哲雄・石井慶市・丹野裕志・高瀬勲・金沢英雄・吉田重夫・半田利男
2. 笛: 情野卯工門
3. 口上: 横沢正巳
4. 寄せ太鼓: 東海林明美・中村京子・渡辺千矢子・渡辺正江・横沢章子
5. アドバイザー: 伊藤香織

今回も「うづぐすえ」第12号をご覧いただきありがとうございました。お問合せの際は右の大学事務局までご連絡下さい。また、本プロジェクトのHPもありますので、PCやスマートフォンからも閲覧することができます。本学HPからもリンク可能です。 <URL : <http://uzugusue.netj.jp/> >

●事務局連絡先

〒990-2316 山形県山形市片谷地515
東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会
東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局
TEL : 023-688-2298